

事務事業名	社会体育施設耐震化事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課 スポーツ文化振興室		
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	スポーツ文化振興G	課長名	原田 憲一	
	施策名	〈30〉生涯スポーツの振興		担当者名	三島 祐一	電話番号	0854-40-1073 (内線) 2241	
	目的	対象	市民	意図	生涯を通じて、スポーツや運動に親しみ、スポーツや運動を楽しみ、支える。			
	基本事業	〈088〉スポーツ環境の充実		予算科目	0:1:5:0:0:2	大事業名	体育施設管理事業	
目的	対象	市民	意図	スポーツ活動に親しむ。			中事業名	社会体育施設修繕事業
				3:0:1:0:1:0	中事業名			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	スポーツ環境を整えることにより、スポーツや運動を安全に行うことができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	大東体育文化センター・木次体育館・掛合体育館の耐震診断業務。
④ 主な活動 R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①協議 ②積算業務 ③発注業務 ④協議 ⑤完了確認	昭和56年以前の旧耐震基準に建設された施設であり、今後どのように活用するのかの判断の為、この業務を行った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 雲南市のスポーツ環境が整っていると感じる市民の割合	%			46.7	
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
事業委託費 耐震診断業務23,078千円 (内訳)大東7,512千円、木次8,174千円、掛合7,392千円	財源内訳	国庫支出金	千円			6,399
耐震設計業務1,540千円		県支出金	千円			
耐震診断手数料440千円		地方債	千円			12,100
計25,058千円		その他	千円			6,500
[地方債]合併特例債		一般財源	千円			59
	事業費計	千円	0	0	25,058	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	専門的知識を要する案件であり、業務を建設部建築住宅課に依頼し業務を実施した。 3体育館のそれぞれの状況と改修に係る概算費用が明らかになった。これに基づき今後の方針を決定していく。
② 事業実施するうえでの課題	・大東体育文化センターは、躯体コンクリート強度が極めて低いため、耐震診断不可能であり、耐震補強も不可能、木次体育館と掛合体育館は、耐震化が可能な施設であるが、現況は地震により倒壊、または崩壊する危険性があり、掛合体育館については特定天井が落下する恐れがあるという調査結果であった。 ・緊急の対応として、直ちに個別訪問、説明会など行い診断結果について説明し併せて代替案を提案した。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・利用状況や今後の活用などを調査し必要な検討を行う。 ・市民のスポーツ環境の充実に向けた検討が必要となる。 ・国民スポーツ大会など施設整備が必要となる施設もある中で計画的な方針を定めていく。